

皆様からの協賛を募集しています!!

「第75回全国植樹祭」の開催趣旨にご賛同いただける団体や企業等の皆様と協働・連携した開催となることを目指しております。
開催趣旨にご理解とご賛同をいただき、温かいご支援、ご協力をよろしくお願い致します。



【協賛の種類】

1 資金協賛

全国植樹祭事業の実施に要する資金提供による協賛

2 物品協賛

全国植樹祭事業の実施に要する物品提供による協賛

3 その他協賛

1及び2に該当しない、役務の提供等による協賛

【協賛特典】

協賛規模に応じて、式典への招待、公式HP・SNSへの協賛者名の掲載等、様々な特典でお返しさせていただきます。

【募集期間】

令和7年3月まで



申請方法等について、詳しくは公式HPをご覧ください。



本多静六コラム

第1話 本多静六ってだあれ?

本多静六博士は日本初の林学博士であり、「日本の公園の父」とも呼ばれています。江戸時代末期の慶応2(1866)年現在の埼玉県久喜市富浦町河原井に生まれました。

村役人を勤める裕福な農家に生まれ育った静六はガキ大将として活発な幼少期を過ごしました。静六が9歳の時、父が急死し、家計が苦しくなったことで、学問で偉い人になろうと思うようになったといいます。猛勉強の末、明治23(1890)年には東京帝国大学農科大学を首席で卒業しました。2年間のドイツ留学から帰国後、明治32(1899)年32歳で日本初の林学博士の学位を取得し、東京帝国大学農学部(現在の東京大学農学部)の教授として、明治から昭和時代にかけて、日本を代表する林学の専門家として活躍しました。

また、日本の造園学の基礎を築いたことでも知られており、全国



各地の公園の設計を手がけ、国立公園の創設にも尽力したことから、「日本の公園の父」と呼ばれています。
このほか、自身で考案した倭約と貯金法を生活の中で実践し、莫大な富を築いた資産家である一方、それらの貯蓄を育英事業などで惜しみなく社会へ還元した社会活動家・慈善活動家でもありました。そして、昭和27(1952)年85歳で亡くなるまで、生涯を通じて360冊あまりの書を著しました。その中には、自身の経験に基づいた処世訓を数多く残したことも知られています。

各地の公園の設計を手がけ、国立公園の創設にも尽力したことから、「日本の公園の父」と呼ばれています。

このほか、自身で考案した倭約と貯金法を生活の中で実践し、莫大な富を築いた資産家である一方、それらの貯蓄を育英事業などで惜しみなく社会へ還元した社会活動家・慈善活動家でもありました。

第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会事務局

(埼玉県 農林部 全国植樹祭推進課)

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1
電話 048-830-4306 FAX 048-830-4771

埼玉県 第75回全国植樹祭

公式HP <https://www.pref.saitama.lg.jp/shokujusai/index.html>



公式HP



公式 X @syokujusai_2025



次号も
お楽しみにトン!

彩の国
埼玉県



第75回

全国植樹祭

埼玉
2025

人・森・川 つなげ未来へ 彩の国

植樹祭だより埼玉

第2号 2024.5

1年前記念イベントを開催します

「第75回全国植樹祭」開催の1年前の時期を迎えるに当たり、皆様にも森林や身近なみどりの大切さを知っていただくため、「1年前記念イベント」を開催します。

当日は、記念式典やトークイベントのほか、森林・林業の展示ブース、木に触れて楽しめるワークショップ、全国植樹祭に関するクイズラリーなどを行います。

皆様のお越しをお待ちしています。



日時 令和6年6月15日(土)
10:00~17:00

※記念式典は10:20~11:30

会場 イオンレイクタウンmori(越谷市)

記念式典
・代表者記念植樹
・大会テーマソング発表
・「木製地球儀」巡回展示出発式など

イベント・出展ブース等

・トークイベント ・木工体験
・苗木のプレゼント など

詳しい内容は公式HPをご覧ください。

1年前記念イベントで発表

吉澤嘉代子さんが大会テーマソングを作詞作曲



全国植樹祭の開催を広くお知らせし、皆様に関連事業や記念イベントへの参加を促し、未来を担う若い世代に森林やみどりへの関心を深めていただくため、大会テーマソングを制作します。

大会テーマソングは、埼玉県出身のシンガーソングライター・吉澤嘉代子さんに制作していただきます。

吉澤嘉代子さんのプロフィール

1990年6月4日生まれ。埼玉県川口市鋳物工場街育ち。2014年にメジャーデビュー。2ndシングル「残ってる」がロングヒット。2023年11月15日に青春をテーマにした二部作の第一弾EP『若草』をリリースし、約3年振りとなる全国ツアーを開催。2024年3月20日に第二弾EP『六花』をリリース。4月にはHall Tour "六花"を開催。5月14日にLINE CUBE SHIBUYAにて行われる吉澤嘉代子10周年記念公演~まだまだ魔女修行中。~を皮切りにアニバーサリーイヤーがスタートする。

1年前記念イベントからスタート

全国植樹祭のシンボル「木製地球儀」を巡回展示

令和6年5月に岡山県で開催する「第74回全国植樹祭」で、埼玉県の大野知事が岡山県の伊原木知事から全国植樹祭のシンボル「木製地球儀」を引き継ぎます。

「木製地球儀」は、1年前記念イベントの記念式典で「出発式」を行い、約9か月をかけて県内市町村をまわります。



木製地球儀とは

「木製地球儀」は、21世紀最初の全国植樹祭が開催された第52回山梨県大会の際に植樹祭のシンボルとして製作されました。森林・林業がさらに重要な役割を担うことをイメージした「木製の地球」で、「国民」「企業」「行政」が丸となって3者の手で支えていく姿を「3枚の葉」で表現し、地球はヒノキ、葉はナラ、基台はケヤキで作られています。

高さ60cm、幅50cm、重さ14.7kgの大きな地球儀で、開催都道府県に引き継がれています。

植樹祭だより埼玉

第2号 2024.5

お問い合わせ先